

ロシアのウクライナ侵攻に対するノーベル賞受賞者たちからの公開書簡

以下に署名したノーベル賞受賞者たちは、ロシアの侵略に直面しているウクライナの人々とウクライナの自由と独立に対する支援をここに表明いたします。

1939年の悪名高いナチス・ドイツのポーランドへの攻撃(この時も今回とよく似た、偽りの挑発という卑劣な策略が使われました)や1941年のソビエト連邦への攻撃を思い出させるこの動き。プーチン大統領に率いられたロシア共和国政府は、自分たちの隣人であるウクライナに対して、正当な理由のない軍事侵略を始めたのです—それは戦争に他なりません。ここでは慎重に言葉を選びました、というのも、ロシアの普通の人々がこの侵略に関係しているとは全く考えていないからです。

私たちは糾弾します。ロシアのこの軍事行動と、プーチン大統領によるウクライナ国家の法的正当性に対する根本的拒否、この両方を糾弾する行動に参加します。

紛争を解決する平和的方法は必ず存在します。ロシアの侵略は明白な国連憲章違反です。この憲章は「すべての加盟国は、その国際関係において、武力による威嚇又は武力の行使を、いかなる国の領土保全又は政治的独立に対するものも慎まなければならない」と謳っています。今回の行為はブダペスト覚書をないがしろにするものです。というのも、この覚書では、ロシアや他の核所有国がウクライナの主権や独立、既存の国境を尊重することを義務付けているのですから。

ロシアの安全保障関係は国連憲章や1975年のヘルシンキ協議最終勧告、そして1990年のパリ憲章の枠組みの中でのみ、対処することができるのです。プーチン大統領や、その協力者たちの行っていること、戦争をするなどということは、不当で血なまぐさく、未来に対して生産的ではない行為です。

ロシアの今回の侵攻は、向こう何十年にもわたってロシアという国の国際的な評判に汚点を残すものとなるでしょう。それはロシア経済に障壁を築き、その国民にひどい打撃を与えるでしょう。ロシアに課された制裁は、世界の中でも才能があって勤勉なあの国の人々が、容易に動き回ることを制限してしまうでしょう。なぜ今、ロシアとそれ以外の世界との間に、こんな壁を築こうというのでしょうか。

すでに何百というウクライナの兵士が、ロシアの兵士が、そして子供も含むウクライナの市民が亡くなっています。それはあまりにも悲しく、意味のないことです。私たちはこの宣言のもと

に集結し、ロシア政府に対してウクライナ侵攻を停止し、その国土から軍隊を引き揚げるよう要求します。

私たちはウクライナの人々の穏やかさと強さに深い敬意を抱いています。私たちはあなたたちと共にいます。すでに亡くなった、あるいは今この時に苦しんでいる、ウクライナ人とロシア人のすべての家族や友人たちに心を寄せています。私たちの美しい世界の一部であるかの地に、どうか平和が訪れますように。

署名リストはこちらです。

https://www.nlcampaigns.org/Nobel_Signatories_for_Ukraine.html

これは「ロシアのウクライナ侵攻に対するノーベル賞受賞者たちからの公開書簡」の日本語訳です。この書簡の呼びかけ人であり、1981年度のノーベル化学賞受賞者である、コーネル大学名誉教授ロアルド・ホフマン博士の了解のもとに、本和訳をここに掲載いたします。オリジナルページはこちらです。 <https://www.nlcampaigns.org/ukraine.html>